

2015年度 後期				リフレクションペーパー			
学科名	建築・デザイン学科						
科目名	建築設計Ⅳ						
科目区分		単位数	3	開講時期	2		
必修・選択の別	選択必修						
担当者	井原徹 井上聡 清原昌洋						
授業の到達目標 (シラバスから)	大規模用途の建築のデザインを行い技術的検討を加えることができる。(B6) ・建築の条件と敷地の条件を的確に把握できる。(B6) ・コンセプトの立案と設計への適用ができる。(B6) ・建築の全体と関係付けて細部のデザインを行うことができる。(B6) ・設計のプレゼンテーションを行うことができる。(A7,B6)						
日程と内容	第1回：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法、設計のまとめ方等 第2回：課題－1「大規模文化施設」課題の理解。資料配布 第3回：エスキス－敷地条件の理解・建築と条件の確認と立案 第4回：エスキス－機能条件の理解・一般ならびにサービス動線の処理と機能構成による立案 第5回：エスキス－構造計画と設備計画による立案。エスキスの提出 第6回：立体構成－断面による空間構成の確認とデザインコンセプトのまとめ 第7回：図面提出・プレゼンテーションならびに講評 第8回：課題－2「複合多目的施設」課題の説明。資料収集ならびに敷地調査の方法 第9回：エスキス－敷地条件の理解・建築と条件の確認と立案 第10回：エスキス－機能条件の理解・動線処理と機能構成による立案 第11回：エスキス－構造計画と設備計画による立案。エスキスの提出 第12回：立体構成－スタディ模型による空間構成の検討 第13回：立体構成－断面図による空間構成の検討 第14回：計画ならびにデザインコンセプトのまとめ 第15回：図面提出・プレゼンテーションならびに講評						
成績評価基準	定期試験 臨時試験 報告書・レポート 課題 演習			実技 部外評価 プレゼンテーション 計		10% 100%	
授業到達目標の達成度	大規模用途の建築のデザインを行い技術的検討を加えることができる。――100% ・建築の条件と敷地の条件を的確に把握できる。――100% ・コンセプトの立案と設計への適用ができる。――100% ・建築の全体と関係付けて細部のデザインを行うことができる。――100% ・設計のプレゼンテーションを行うことができる。――100%						
反省点	学生数が多いため、3人体制であっても、学生数が70名のため、1人当たり指導できる時間は10分を満たないことが多い。 進捗状況の異なる学生の為に、指導時間に差が生じることもある。						
来年度の計画	学生の進捗状況に合わせて、指導時間を配分する。 優秀な学生をより伸ばすために、今後は課題選択も検討予定である						
授業評価アンケートに対するコメント	一部の学生から指導時間を増やしてほしいとの意見もあるので今後対応していきたい						
履修登録者数	68 名	定期試験 受験者数	67 名	合格者数	65 名	合格率	97%